




令和 4 年度 施策評価表

施策	1601	観光交流のまちづくり	施策担当部	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
			施策担当課	観光振興課	課長	上野 秀徳
施策の方針	豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等、本市の観光資源を活用し、滞在型観光やグリーン・ツーリズムの推進を図る。また、スポーツ大会などコンベンションの誘致強化に努める。					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 豊かになり、経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>					

【DO（実施）】 後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 観光客数	人/年	2,080,000	2,177,000 1,636,351	2,283,000	2,388,000	2,494,000	2,600,000	75.2%	62.9%
② 市内宿泊施設の延べ宿泊者数	人/年	405,000	403,000 345,943	415,000	427,000	439,000	450,000	85.8%	76.9%
③ 市内民泊施設の延べ宿泊者数	人/年	555	570 3	577	585	592	600	0.5%	0.5%
④ 観光イベント来場者数	人/年	567,000	569,000 310,187	570,000	571,000	572,000	573,000	54.5%	54.1%
⑤									

施策達成状況の説明
①観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大による全国的な行動自粛の影響があり、目標を下回った。
②市内宿泊施設の延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う観光客の減少によるもののほか、長崎空港の国際便の運休等海外旅行者の減少により、目標を下回った。
③市内民泊施設の延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症拡大による海外からの教育旅行も受入れが皆無の状況で実績はほとんどなかった。
④観光イベントの来場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大により夏越花火大会等、中止になったイベントが多く、目標を下回った。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	31,999	42,033	41,130	
	国庫支出金	3,238	2,415	2,374	
	県支出金	1,343	1,443	2,495	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,267	6,242	5,999	
	一般財源	25,151	31,933	30,262	
	人件費	17,204	17,193	—	
フルコスト	49,203	59,226	—		

施策の概要（細施策）

160101	歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進	滞在型観光を推進するため、歴史・文化、自然など、本市ならではの観光資源を活用したまち歩きや体験プログラムなど、観光メニューの開発を行います。 また、新幹線開業を踏まえ、「大村市新幹線開業アクションプラン」に沿って、情報発信等のプロモーション活動や観光ツアーの企画等の観光商品づくりなどの取組を推進します。
160102	グリーン・ツーリズムの推進	本市の豊かな自然環境等を活かした魅力的なグリーン・ツーリズムを更に推進するため、関係機関と連携し、農業体験や農家民泊などの体験型観光の強化に努めます。 また、多様な外国人旅行者に対応するため、受入農家に対する支援を行います。
160103	観光イベントの充実	「おおむら花まつり」、「おおむら夏越まつり」など、イベント内容の充実を図り、観光客の誘客に努めます。 また、地域の祭りや行事などを観光イベントとして活用します。
160104	コンベンション誘致の強化	大村市観光コンベンション協会や長崎県観光連盟、長崎県スポーツコミッション等と連携し、各種会議・大会やスポーツ大会・合宿など、コンベンションの誘致強化に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進は、日本遺産に認定されたシュガーロードや本年9月23日の新幹線開業による新たな観光素材を活用した取り組みを推進するとともに、令和3年度から検証中のワーケーションにおける広域周遊や交通機関の利用方法などの問題点を改善しながら沿線近隣市町等との観光交流を充実するなど広域的かつ一体的な連携を図るなどにより滞在型観光に繋げる仕組み作りが必要である。

グリーン・ツーリズムの推進では、魅力の再発見として農泊・体験型の取り組みが、国内外からの誘客が見込める重要なコンテンツである。今後の海外からの入国緩和によるインバウンド受入れや国内の移動制限を見ながら、受入れ体制の構築を含めた、グリーン・ツーリズムの安定した運営ができる仕組み作りが必要である。

観光イベントの充実では、「おおむら花まつり」や「しゃくなげまつり」は、近年の開花時期が早まっている状況を鑑み開催時期を早めた。また、今なお続く新型コロナウイルス感染症の影響等の中で開催するイベントは、国が策定した方針に基づいて実施する必要がある。

コンベンション誘致については、新型コロナウイルス感染症の影響等が続いているものの、県内の大会で大村市に宿泊する人を増加させるためにコンベンション協会と連携し取り組んでいく必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進は、本年度は9月23日の新幹線開業に向け、新たな観光スタイル構築に向け令和3年度から検証中のワーケーションを取り入れながら市内の民間事業所や沿線近隣市町等との協力により取組をさらに推進する。

グリーン・ツーリズムの推進は、農泊・体験型の取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により今なおインバウンドの低調が続いているが、海外からの入国緩和が進み、コロナ収束を見据えた受け入れ体制の整備や仕組み作りを進め、コロナ禍の中で注目されているマイクロツーリズムの進展に伴い、SNS等も活用し情報発信を充実させ、国内や特に近隣からの誘客を図る。

観光イベントの充実では、「おおむら花まつり」や「しゃくなげまつり」は、近年の開花時期が早まっている状況を鑑み開催時期が早まったが、引き続き開花状況にあわせたイベント開催を行っていく。その他「おおむら夏越まつり」や「おおむら秋まつり・グルメフェア」、「宿場まつり」についても引き続き新型コロナ感染症状況に留意し、国が策定した方針により実施する。

コンベンション誘致については、今後も新型コロナウイルス感染症の影響等によるコンベンション誘致状況の変動は予測されるため、受入可能な仕組みを調査・研究する。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	